

(公財) 滋賀県産業支援プラザ あなたの夢をサポートします！ 創業支援 NewsLetter 2017.5月号

(公財)滋賀県産業支援プラザではコラボしが21インキュベーション(創業準備オフィス、創業オフィス)、草津 SOHO ビジネスオフィス、米原 SOHO ビジネスオフィス、滋賀県立テクノファクトリーを運営しています。創業や新技術開発など、インキュベーション・マネジャー(IM)による成長段階に応じた支援を行っています。

創業をお考えの方は、(公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援課まで 077-511-1412

■ビジネスカフェあきんどひろば in 米原

『モノづくり/場づくり/まちづくりを元気にするデザイン』を開催

今回、「ビジネスカフェあきんどひろば in 米原」は初めての試みとして、民間のイベントスペースをお借りし『モノづくり/場づくり/まちづくりを元気にするデザイン』をテーマに、パネルディスカッション、2部に全体ディスカッション(ワールドカフェ)、そして交流会を開催した。



様々なデザインに関係する方も大勢参加され、グラフィックなどの表現のデザインだけでなく、コミュニティーデザインなど仕組みのデザインも含め、参加者も50名を超える規模となった。

パネルディスカッションは、ファシリテーターに(株)いろあわせの代表取締役北川氏にお願いし、4名のパネラーと会場を一つにデザインについてディスカッションを行った。最初に北川氏からアイスブレイクと本日の目的について、その後各パネラーより各自のデザインに関する取組についてお話をいただいた。

(株)バンアンドアーク代表取締役でグラフィックデザイナーの立澤竜也氏は、インターネットショッピングサイト『オリテ米原』や「地域を動かすエンジンを作る」を理念に『米原エンジンプロジェクト』、また地域の若手クリエイターの交流を図る活動など様々な地域活性に取り組まれている。その中で、彼が考えるデザインとは「伝えたいことは余分な要素をそぎ取り、出来るだけシンプルに表現する」、例えば会社のロゴなどは、歴史や理念、製品やサービスなど企業が伝えたいことを1つの表現で完結することが必要と強調。

早川鉄兵氏はIターンで米原市の山間集落を拠点に、日々出逢う自然や動物をテーマに制作活動をされており、精密な切り絵作品にとどまらず、大掛かりなインスタレーションやライトアップを手がけるなど、新しい切り絵表現の可能性を追求する注目の切り絵作家。

作品のキーワードは「かわいい」という言葉に、会場からは笑いがあがった。カメラマンとしての経験もあり、イメージを切り取り表現する力には絶妙なものがある。

米原市役所みらい創生課鹿取顕崇氏は、米原市役所でシティセールスや地方創生などを担当されており、「びわ湖の素(もと)」のプロモーションビデオの制作にも参加、常に市民に目をむけ地域の活性化をデザインされている。また、米原市では何もかも行政が行うのではなく、出来るだけ民間の知恵やノウハウを活用し地域の活性化を進めているとのこと。

滋賀県産業支援プラザの谷口直樹氏は、取り組んでいる起業・創業支援でビジネスカフェ、プレBI、メインBI、ポストBIと続く滋賀県の創業支援システム(デザイン)を紹介。

締めくくりには北川氏から新たな発想法として、デザイン思考について説明を行い、1部のパネルディスカッションが終了した。



引き続き第2部の全体ディスカッション(ワールドカフェ)では、参加者が4~5名で1つのグループとなり事前に配布したワークシートのテーマ(について各自がプレゼンを行い、各グループごとにテーマを決めディスカッションを行った。今回は机や椅子を用いず参加者全員が車座になり、模造紙に各グループのテーマ書き込み、みんなが熱心にディスカッションしている姿が印象的であった。

第3部の交流会にも40名の参加者で、ワールドカフェの延長でもあり、それぞれ名刺交換など盛大に行われた。

■バイオリンを自作できる工房「膳所弦楽館」が大津市まちなか交流館にオープン

コラボしが21インキュベーション創業準備オフィスの橋本敦守さんが、大津市まちなか交流館のチャレンジショップで、弦楽器(バイオリンやチェロ)を創る「膳所弦楽館」をオープンされました。

お店のディスプレイとして吊ってあるバイオリンは橋本さんが1年掛けて制作されたもので、仕上がりは販売されているものと遜色がないと思いましたが、橋本さん曰く、「この部分は、もっと丸みを帯びていたらよかった」とこだわりをのぞかせます。

創る喜びを知ってもらいたいと定年退職後にシニア起業され、将来の夢は、製作工房、ライブ演奏、名曲カフェ、音楽教室を備えた「弾く、聴く、創る『膳所弦楽館』」という事ですが、橋本様の夢の実現を楽しみにしています。お店を2月20日にオープンして、すでに数人が申込をされているとか、取材をした日にも年配の方が申込をされていました。

新聞やラジオで紹介されたのをきっかけに、問い合わせや見学がたくさんあり、「メディアの反響はすごい」と橋本さん。

実は、メディアに掲載される理由があります。それは、創業準備オフィスの入居者支援の1つとして「プレスリリースの書き方」を行っています。プレスリリースとは、報道機関に向けた情報発信のことで、それを見た報道機関が取り上げるというものです。

これから起業を考えている方は、経営資源が乏しく、広告や宣伝にあまりお金をかけることはできません。そこで、お金をかけずにPRする方法の1つとして、書き方や提出方法を教えています。

このような支援を、創業準備オフィスでは実施していません。これから起業をお考えの方は創業支援課まで、お気軽にお問い合わせを。

創業支援課 電話077-511-1412



■草津および米原 SOHO ビジネスオフィス 入居企業紹介

○草津 SOHO ビジネスオフィス入居企業

株式会社B-PHYs

代表取締役 川本 久裕 氏

【事業内容】

リチウムイオン電池の生産機器を設計製造
リチウムイオン電池の黎明期よりその生産に携わる等
リチウムイオン電池のスペシャリスト。

しがロジカルキッズネットワーク

代表 世古 美和 氏

【事業内容】

小学生を対象とした子供プログラミングスクール事業。
2020年にプログラミング教育が小学校で義務教育化される事が決定した事を睨んでの起業。

株式会社GET PAT

代表取締役 宮崎 超史 氏

【事業内容】

一般企業と弁理士のマッチングサイトの構築と運営。
取り扱う商材は知財権(特許権、商標権、意匠権等)

株式会社A I o T

代表取締役 中林 賢一 氏

【事業内容】

モダンWebを活用した情報処理サービスの提供
ビックデータ処理やレコメンド広告などにも応用

Studio. C3

代表 山田 直樹 氏

【事業内容】

SNS型旅行アプリの開発・運営
旅行の記録を共有して感動豊かな旅行を提案

○米原 SOHO ビジネスオフィス入居企業

GREEN&MIRAI (グリーン&ミライ)

代表 新村佳嗣 氏

【事業内容】

本当に必要な地方創生事業を
インギサービス
新村氏は本年3月に開催
された第2回日本アント
レプレナー大賞のファイ
ナリストに選出され
ました。



しが新事業応援ファンド通信

有限会社 ヴァンテック

地域資源「金属製品」を活用した ステンレス製
タンブラーグラスの開発・販路開拓事業



ヴァンテックの社屋

1、ヴァンテックの沿革

ヴァンテックは、栗東市を中心に廃棄物処理事業を行う栗東総合産業(株)のグループ企業として、平成6年に設立した。乗馬クラブ、ビルメンテナンス事業からスタートし、特に環境関連事業に注力してきた。

ビルメンテナンス事業の一環として、自然由来の材料で作った害虫忌避剤を使用した環境負荷の少ない工法を採用したり、また、オリジナル環境製品の開発も手掛けている。現在では、国内のみならず中国にも環境製品を販売している。

2、触媒処理と遠心分離を併用した油水分離装置開発

ヴァンテックは金属触媒を用いた油水分離技術を保有しており、この技術に遠心分離技術を付加させて、排水処理装置の試作機を完成させた。これまで、遠心分離が有効であることは知られていたが、高速回転をコントロールすることが難しく、簡単に扱える技術で



開発中の油水分離装置



開発したタンブラーグラス

はなかった。回転体力学の権威である名古屋大学の石田名誉教授の指導により、安定性、安全性の高い装置を試作できた。今後、この技術を更に進化させ、飲食店向け排水処理装置（特に油分を多く含む、ラーメン店、とんかつ店などがターゲット）を普及させていく計画だ。

3、触媒処理技術を活用したタンブラーグラスの開発

ファンド助成金を用いて、昨年からの開発を始めたのは酒やジュースを美味しく飲めるタンブラーグラス。ステンレスグラスの内面を表面処理して、液体中の不純物をグラスに吸着させることで、刺激の強い飲料がまろやかになるという。グラスのデザインは滋賀県立大南政宏先生の指導により、プロダクトデザイナー秋田道夫氏の80mmを採用し、デザイン性だけでなく保温性にも優れた商品に仕上がった。今年度は、販路開拓を行い、国内だけでなく海外にも展開する計画だ。

ファンド担当 長谷川正幸



取締役 井之口哲也

住所 〒520-3036 栗東市十里 244
TEL 077-552-1711

ビジネス・インキュベーション施設

■米原 SOHO ビジネスオフィス

〒521-0016 滋賀県米原市下多良 2-137
文化産業交流会館 4F
TEL : 0749-52-9200
E-mail : maibara@soho-shiga.jp



■滋賀県立テクノファクトリー

〒525-0055 草津市野路東七丁目 3 番 46 号
TEL : 077-516-0410



■コラボしが21 インキュベーション

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2-1
コラボしが21 4階
TEL : 077-511-1412
E-mail : in@shigaplaza.or.jp



■草津 SOHO ビジネスオフィス

〒525-0032 滋賀県草津市大路 1-1-1
エルティ 932 4階
TEL : 077-566-8121
E-mail : kusatsu@soho-shiga.jp



創業をお考えの方は、
滋賀県産業支援プラザ
創業支援課まで

Business Incubation

創業支援 News Letter 2016. 11 月号
発行：(公財) 滋賀県産業支援プラザ
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号
TEL : 077-511-1412 FAX : 077-511-1418
E-mail : in@shigaplaza.or.jp
URL : http://www.shigaplaza.or.jp/
支援プラザ と検索を
©2016 公益財団法人滋賀県産業支援プラザ